

⑨日本国特許庁

⑩実用新案出願公開

公開実用新案公報

昭53—102800

⑤Int. Cl.²
A 45 D 33/00

識別記号

⑥日本分類
125 L 1庁内整理番号
6327—46

④公開 昭和53年(1978)8月18日

審査請求 有

(全 3 頁)

⑭コンパクト

②実 願 昭52—5695

②出 願 昭52(1977)1月20日

⑦考 案 者 紀伊国陶一

⑮実用新案登録請求の範囲

内面に枠係合突部11, 21を有し、外面には合成樹脂発泡シートを重合した硬質合成樹脂製の身部片10および蓋部片20の間に連結片30を配置し、身部片10、連結片30および蓋部片20の表裏を一連の合成樹脂シートで被覆するとともに、各片間は表裏の被覆シートを接着して身部片10、連結片30および蓋部片20を一体に連結してなり、かつ前記身部片10の係合突部11には上面に上向きの突出縁15を有する皿受け枠13の下面凹部14を嵌着して皿受け枠13を該身部片10に固定し、受け枠13内側には化粧料収納皿50を嵌合止定することにより身1を形成し、また前記蓋部片20の係合突部21内に鏡板26を嵌め込むとともに、前記受け枠13の突出縁15に内側縁25を嵌合し得るよう設けた鏡押え枠13の下面凹部24を該係合突部21に

芦屋市船戸町8丁目16番地

⑦出 願 人 紀伊産業株式会社

大阪市東区本町1丁目1番地

⑦代 理 人 弁理士 葛田瑋子 外3名

嵌着することにより蓋2を形成し、さらに身部片10あるいは蓋部片20の被覆シート外側には蓋2を身1に重合係止するための止定片60を取着したコンパクト。

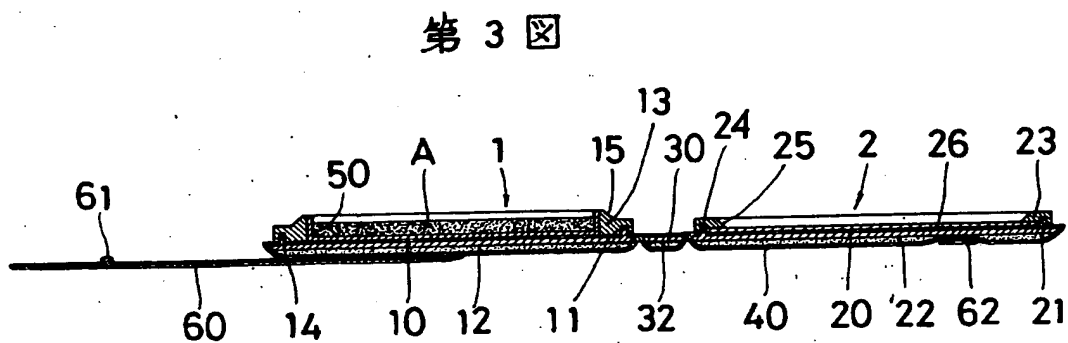
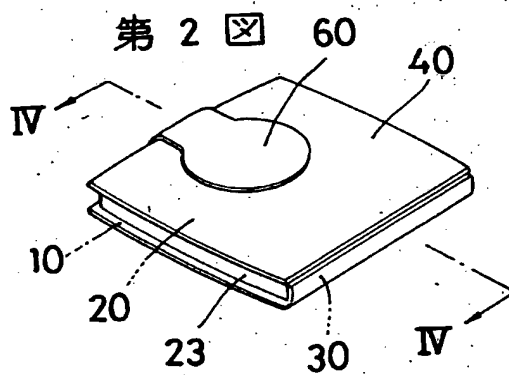
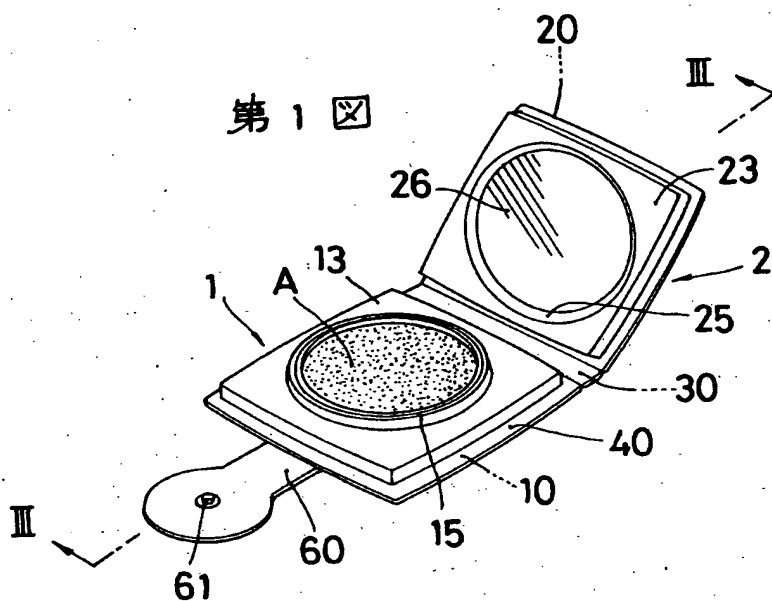
図面の簡単な説明

図はこの考案の実施例を示し、第1図は開口した斜視図、第2図は蓋をした斜視図、第3図は第1図Ⅲ—Ⅲ線の展開した断面図、第4図は第2図Ⅳ—Ⅳ線の拡大断面図である。

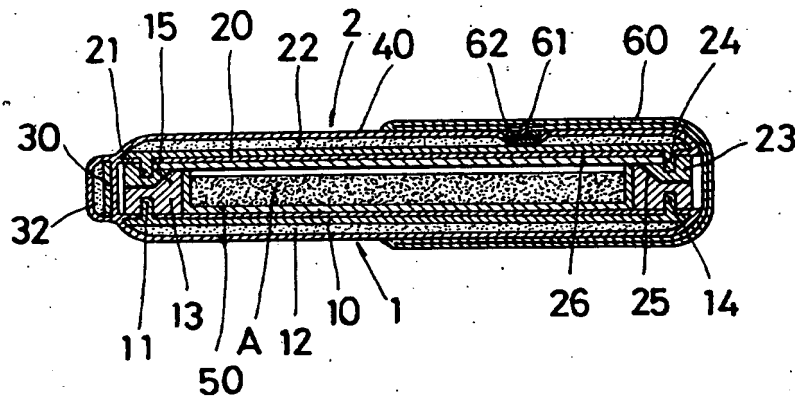
1……身、2……蓋、10……身部片、11……枠係合突部、12……発泡ウレタン樹脂シート、13……皿受け枠、14……凹部、15……突出縁、20……蓋部片、21……枠係合突部、22……発泡ウレタン樹脂シート、23……鏡押え枠、24……凹部、25……内側縁、26……鏡板、30……連結片、40……ポリ塩化ビニルシート、50……化粧料収納皿、60……止定片。

BEST AVAILABLE COPY

BEST AVAILABLE COPY



第4図



BEST AVAILABLE COPY